

令和6年度 第2回 豊田市石野地域会議 会議録

開催日時	令和6年6月25日（火）	開会	閉会
		午後7時	午後8時20分
会 場	石野交流館1階 多目的ホール		
出席者	地域会議委員：13人		
	会長：溝上 喜美男 副会長：内藤 正弘		
	委員：阿部 金一 安藤 貴央 加藤 恭司 川井 正弘		
	河原 美枝子 小山 伸二 清水 康代 塚本 まゆみ		
欠席者	中川 広恵 成瀬 嘉則 森久 剛		
	1名（河原 信昭）		
傍聴者	なし		
事務局	猿投支所：広瀬支所長、梅村副支所長、井沢主査		
内 容	1 豊田市民の誓い（唱和） 2 会長あいさつ 3 令和6年度の地域課題解決事業について 4 令和7年度以降の地域課題解決事業について 5 わくわく事業現場確認について 6 情報共有・事務連絡		

■議事（要約）

3 令和6年度の地域課題解決事業について

・事務局が資料に基づき説明

委員：キャンプに当日参加できる委員はぜひ、参加してほしい。

4 令和7年度以降の地域課題解決事業について

・事務局が資料に基づき説明

＜委員意見・質疑応答＞

委員：これまでは、各団体がそれぞれ目的をもって活動していて、連携するという考えに至らなかった。広瀬駅の紅葉の色合いが芳しくないのでは、枝払いできないかと考えた時に、私たちの団体は高齢者ばかりで難しいと感じることがあった。また、もう少し駐車場があったらいいなと考えたとき、近隣は民地なので、利用交渉を団体だけで進めるには不安がある。このような課題の解決で連携できるといいなと思った。

委員：自分は地域会議委員として、わくわく事業現場確認に伺った際に、活動に深く共感し仲間に加わった。現在は、消防団やトヨタ自動車の有志等も活動を支援してくださっている。やはり発信していくことで、つながりが生まれて仲間が増えていくと感じた。ぜひ多くの方に紅葉の時期に、廃線敷を歩いてみてほしい。

委員：石野地区の地域会議委員になったことを報告すると、廃線敷の活用を求める声があった。石野地区以外の方からの声も聞いている。取り組めるといいと思う。

委員：最近はお室から芳友に抜けて足助に向かう自転車ツーリングの人々が増えているように感じる。中金駅に誘導できるような工夫があるといいと思う。車の駐車場は限られているが、自転車なら気兼ねなく停車できるのではないかな。

委員：事務局の説明を聞き、資料にあるように7つの団体がいかにどう集まって、取組をどう進めるのかを思案した。団体の会員をリスト化して整理するといいと思う。団体が集まり、打合せの時間を持てれば効率的な活動ができるのではないかな。

事務局：協議会がまさにそのような役割を担うものだと考えている。

委員：誰でも話し合いに参加できる機会があるとよいと思う。

委員：私も廃線敷の魅力が高まるといいと思っている。7つの団体や地域の方々が集まる機会や場所をつくる必要があると感じている。

委員：広瀬と中金をつなげることが大切だと思う。トンネルが通れないというのはどうということか、説明してほしい。

事務局：廃線になった際に地域振興を条件に豊田市が寄贈をうけているが、寄贈以来トンネルは点検をしていないため、安全性を確保できず通ることができない。

事務局：長年委員の皆さんから同様のご意見を頂いている。事務局としても恒常的にトンネルを利用することは難しいが、なにか解決策を考えていきたい。

委員：愛岐トンネルのようなNPO法人がやっているところは通れるのではないかな。

事務局：愛岐トンネルは自己責任でトンネルを散策できるという現状である。

委員：廃線敷に馴染みはないが、どうなったら自分が行ってみたいと思えるかを考えると、四季折々の花々があると良いのではないかな。

委員：東広瀬から電車に乗って豊田に行くということが、当たり前の生活をしてきた。広瀬と力石トンネルは名鉄で唯一のトンネルと聞いている。地元の財産を活用するということであれば、鉄道ファンの目線でいうと、鉄橋、トンネル、駅舎、その先の風景があることが良いのではないかな。広瀬から中金が通って歩けるといい。

鉄橋を超えると枝下ともつながるが、枝下でも活動している団体がいるのではないか。面的にとらえていくことでストーリーを持てたらと思う。耕作放棄地を駐車場にして、廃線敷を見に来た方が利用出来たらいいと思う。

5 わくわく事業現場確認について

- ・事務局から説明

6 情報共有・事務連絡

(次回の予定)

日 時：令和6年7月23日（火）午後7時から

場 所：石野交流館 1階 大会議室

内 容：地域課題解決事業の実施計画について